

職員の心理的ストレスと葛藤の 軽減への取り組み

浜北愛光園 1号館3階
浦田ひろみ

はじめに

倫理的配慮について

認知症の周辺症状



繰り返すことで
大きなストレス！！
を付けてごまかす

認知症について
深く知る！

お互いのストレス・葛藤が軽減されるはず！！

方法

- 対象者を決め、その人の全体像を理解する
- 認知症の理解(DVDの回覧)
- 対象者との接し方の統一
- 上記方法を6ヵ月実践
- その後の変化を対象者、職員双方から評価する

Aさん(ショートステイ)の紹介

- 年齢 91歳 介護度 2
- 平成17年 アルツハイマー型認知症発症
- 帰宅願望が強く同じ訴えを繰り返す
- 他者に厳しい言葉をかけることあり
- 浜北愛光園には働きに来ていると思っている

Bさん(入所者)の紹介

- 年齢 84歳 介護度 2
- 平成14年頃 アルツハイマー型認知症発症
- 帰宅願望を繰り返し訴える
- 他者とのコミュニケーションは難しい
- 身体の不調が帰宅願望となって現れる

結果① 対応方法

説得させよう!

納得してもらおう!

結果② Aさんの変化

表情が
柔らかくなっ
た

繰り返しの
言動が
減った

声を荒げる
事が減った

帰宅願望の
訴えが多少
減った

結果③ Bさんの変化

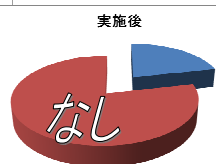
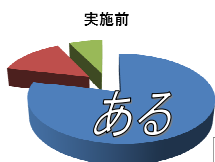
訴える数は
減って
いない

家族との
やり取りが
増えた

安心した、
という返事
が増えた

訴えと訴え
の間隔が空
いてきた

結果④ 職員のストレスの変化



考察

職員の
意識向上

穏やかな
対応

傾聴

笑顔

